

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第5週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和6年 第5週分 1月29日～2月4日（2月7日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：773人、定点医療機関当たり16.10人、新規患者推計値※：3,649人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

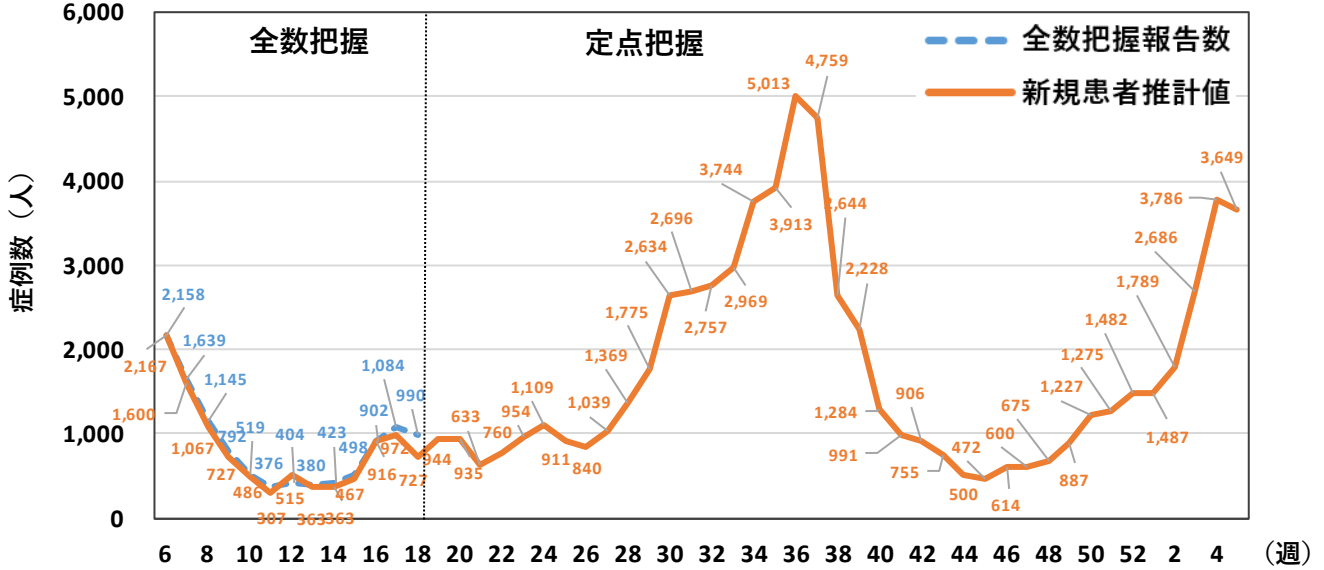


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

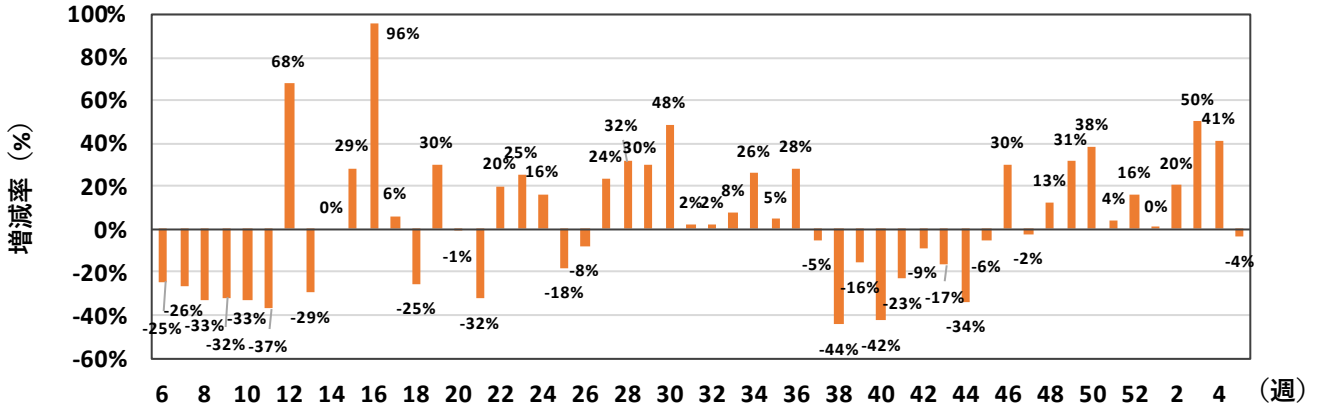


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第5週）

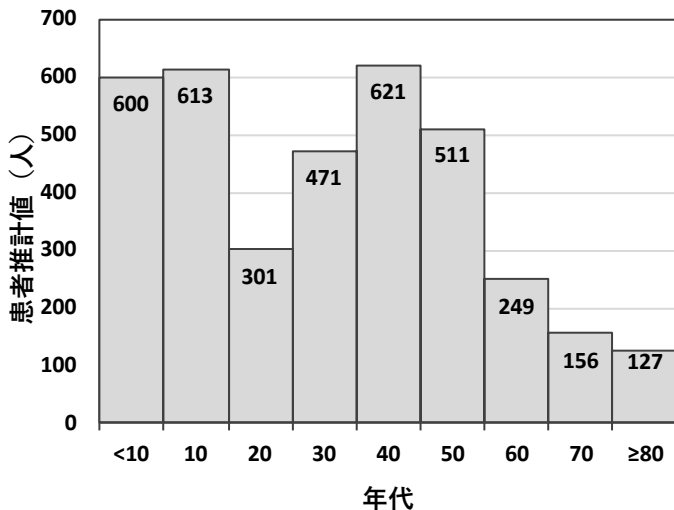


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第5週）

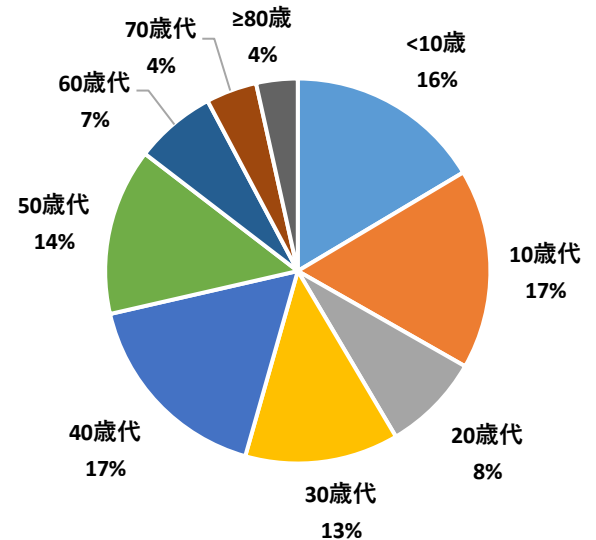


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

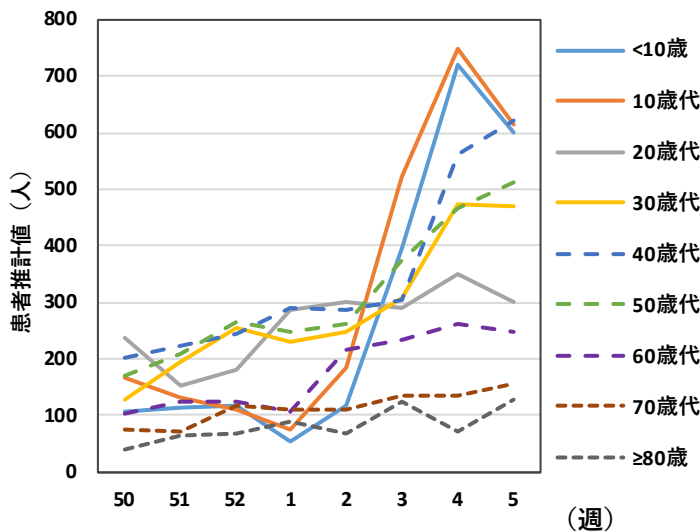
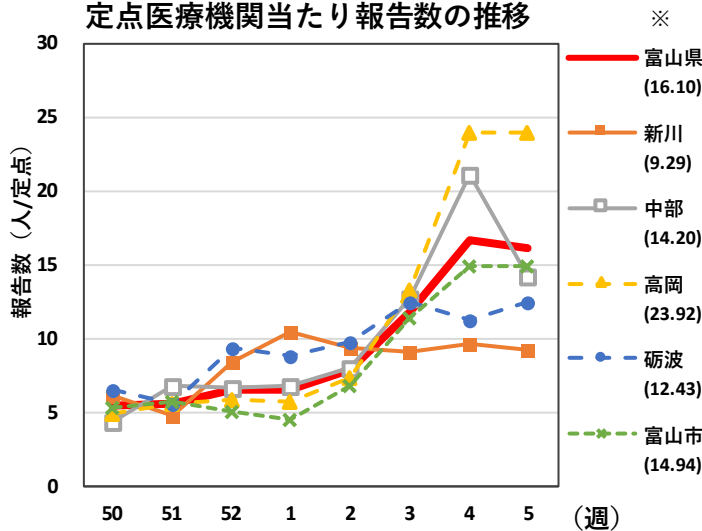


図6. 厚生センター・保健所管内別
定点医療機関当たり報告数の推移



※ () 内は今週の定点当たり報告数

図7. COVID-19入院サーベイランス
年代分布（第5週、30例）

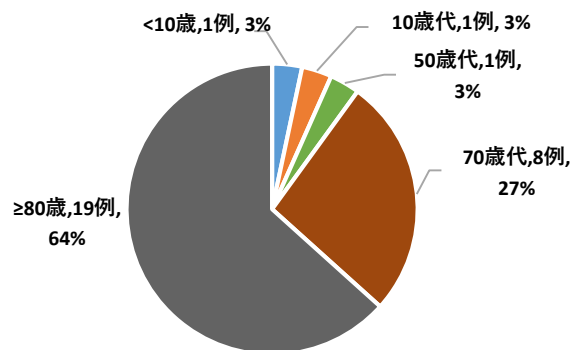
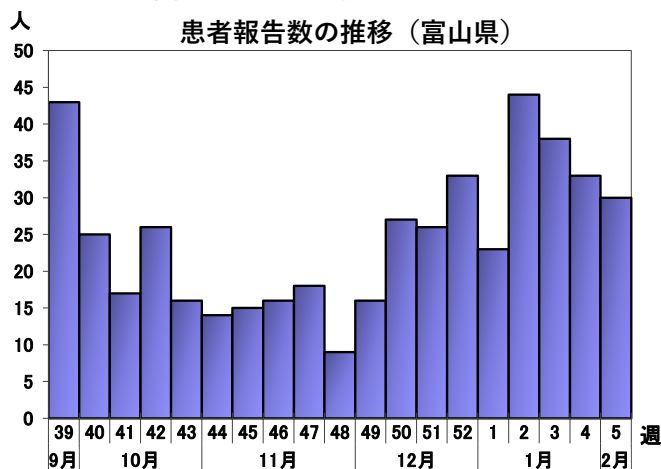


図8. COVID-19入院サーベイランス
患者報告数の推移（富山県）



第5週（1/29～2/4）時点での所見と評価

- 第5週の定点医療機関当たり報告数は16.10人、新規患者推計値は3,649人であった。前週推計値（第4週、3,786人）から4%減少した（図1、2）。
- 第5週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。40歳代、10歳代、10歳未満の順に17～16%を占め、次いで50歳代（14%）30歳代（13%）の順であった。60歳以上の割合は15%で先週（13%）からやや増加した。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。先週まで大きく増加していた10歳未満と10歳代は、今週減少に転じた。40歳代、50歳代では増加が続いている。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で16.10人/定点であり、先週（16.71）からほぼ横ばいであった。中部管内で先週から減少したほかは、ほぼ横ばいであった。
- 県内5カ所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第5週に30例の入院報告があり、先週（33例）から減少した。年代分布では、70歳代が8例、80歳以上が19例で、70歳以上が90%を占めた。（図7、8）。
- COVID-19の定点当たり報告数は、今週は前週と比べてほぼ横ばいであったが、2023年45週以降継続的に増加していることから、今後の感染動向を注視する必要がある。